

## 風しん対策について

### 1 風しんの概要

- ・風しんウイルスによっておこる、発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症。
- ・風しんの予防にはワクチン接種が有効（対象者：1歳及び6歳）。
- ・免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがある（平成24年10月から平成25年7月31日までに、全国で14例）。

※先天性風しん症候群（CRS）の症状：心疾患、白内障、難聴などの障害を持つ子供が生まれることがあるもの。

- ・妊娠を希望する女性や、その家族には積極的に風しんワクチン接種を受けることが勧められている。

### 2 風しんの流行状況

平成25年の全国の風しんの報告数は、8月14日現在13,670人（過去5年間で最も多い報告数、本県は、今年度7人（うち5月が5人））となり、首都圏や関西地区での報告が多い。

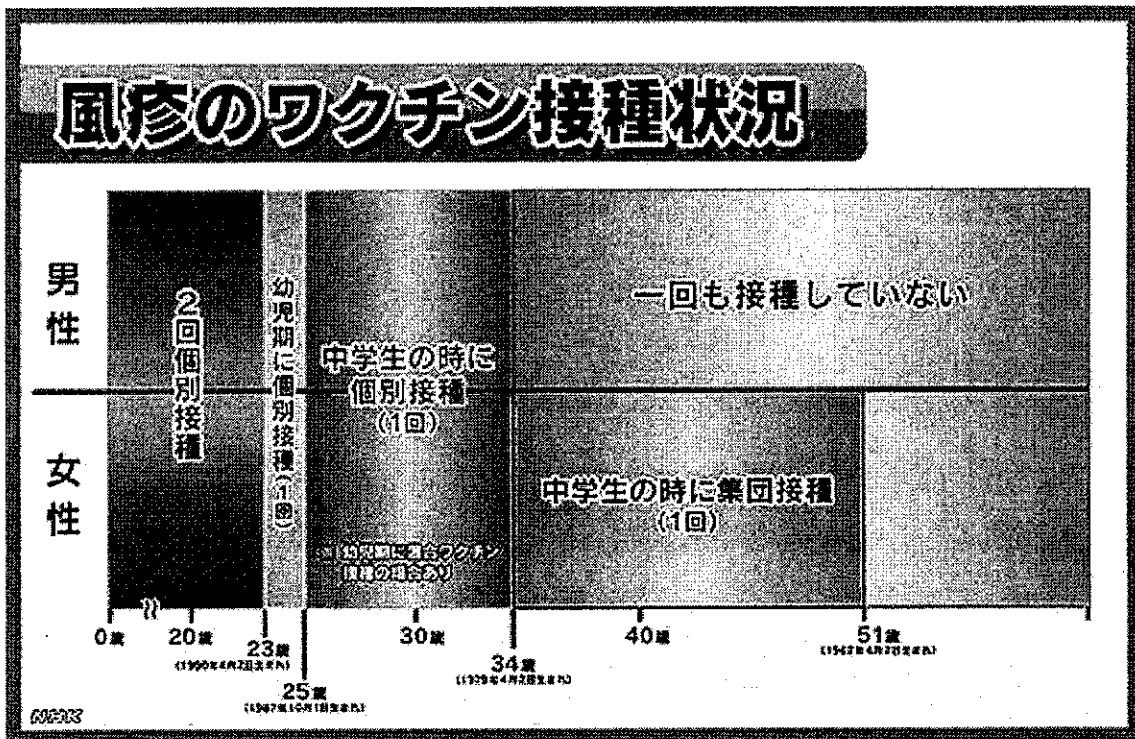
年齢層別では、20～40歳代の男性が全体の約6割を占めている。

#### ○ 風しんの報告状況（全国及び岩手県）（単位：人）

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
全国	147	87	378	2,392	13,670 <sup>(※1)</sup>
岩手県	0	1	1	1	7 <sup>(※2)</sup>

(※1) H25年 全国は平成25年8月14日までの報告数。

(※2) H25年 岩手県は平成25年8月18日までの報告数。月別内訳：1月1人、4月1人、5月5人。



(出典：NHK ホームページ)

### 3 各自治体による成人を対象とした風しん予防接種助成・補助の状況等

#### (1) 岩手県内各市町村の助成状況

7月29日現在実施中：23市町村

盛岡市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、花巻市、遠野市、北上市、西和賀町、奥州市、金ケ崎町、一関市、平泉町、山田町、岩泉町、田野畑村、久慈市、野田村、二戸市、軽米町

#### (2) 本県の対応

県内における先天性風しん症候群の発生予防と母子保健対策の観点から予防接種費用助成制度を創設（6月補正予算）。

##### 【事業の概要】

先天性風しん症候群の発生予防のため、妊娠を希望する女性や妊婦の夫を対象にワクチン接種の助成を実施する市町村に対し、その費用の一部を補助する。

- (1) 事業主体 市町村
- (2) 補助対象者 ① 妊娠を希望する女性、② 妊婦の夫
- (3) 補助基準額 基準単価（3,000円：風しん単抗原ワクチンの平均価格×1/2）
- (4) 補助率 市町村の助成額の2分の1
- (5) 事業実施期間 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

#### (3) 全国都道府県の市町村補助の状況（7月1日現在）

市町村の事業に補助をしている都道府県は以下の17都府県（予定を含む）。

秋田県、福島県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、佐賀県

（流行している首都圏や関西地区の都府県が多い。）

### 4 風しん抗体保有状況調査結果（平成23年度 国調査）

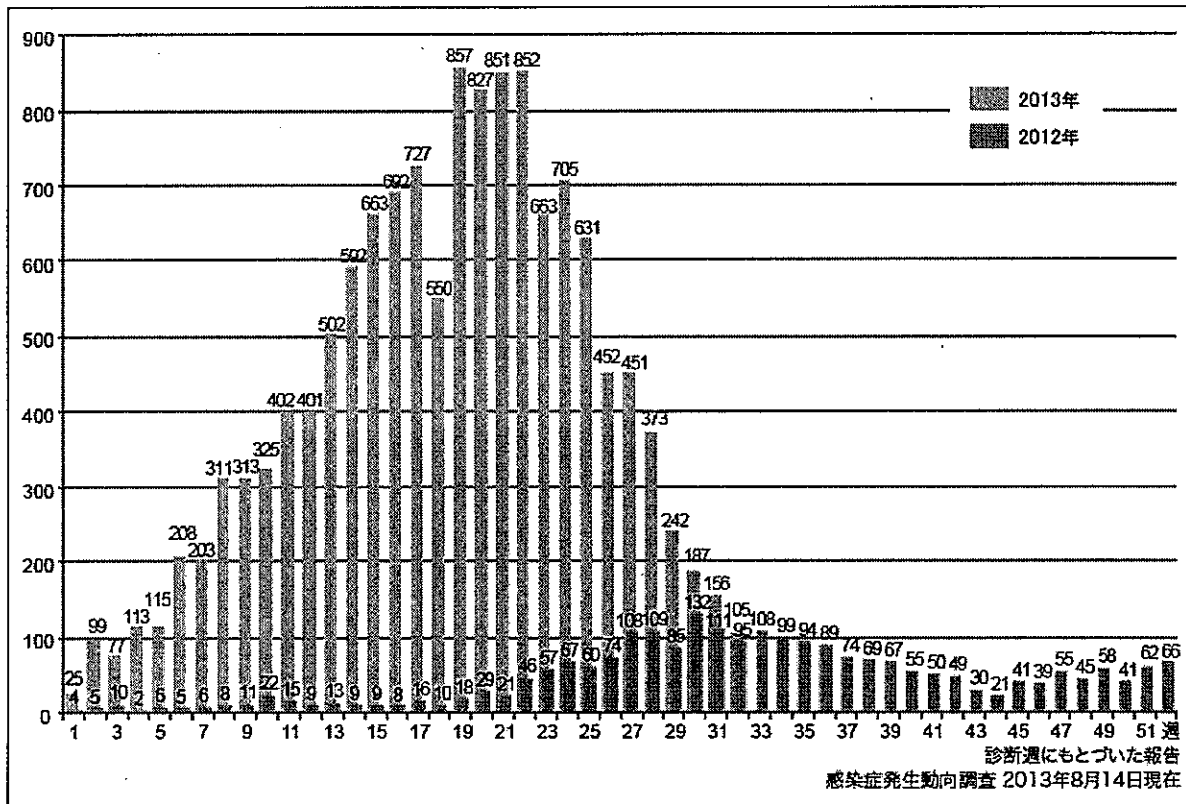
- ・ 20～40代の男性の15%（20代8%、30代19%、40代17%）が風しんへの抗体を持っていない。
- ・ 20～40代の女性の4%が風しんへの抗体なし。11%では感染予防には不十分である低い抗体価。

### 5 風しんワクチンの安定供給対策

- ・ 国から、平成25年7月2日付けで協力依頼の通知
- ・ 十分な量の風しんワクチン（単独、MR）の安定供給の目途がつくまでの間、「安定供給体制の構築」及び「風しん予防接種助成の対象に抗体検査を義務付け検討」等の内容
- ・ 県の対応として、①市町村等へ協力依頼を通知、②安定供給体制の構築を図るための連絡会議を開催するとともに、③県内や全国の動向を注視しているところ

2. 週別風しん報告数 2013年第1~32週 (n=13,670)

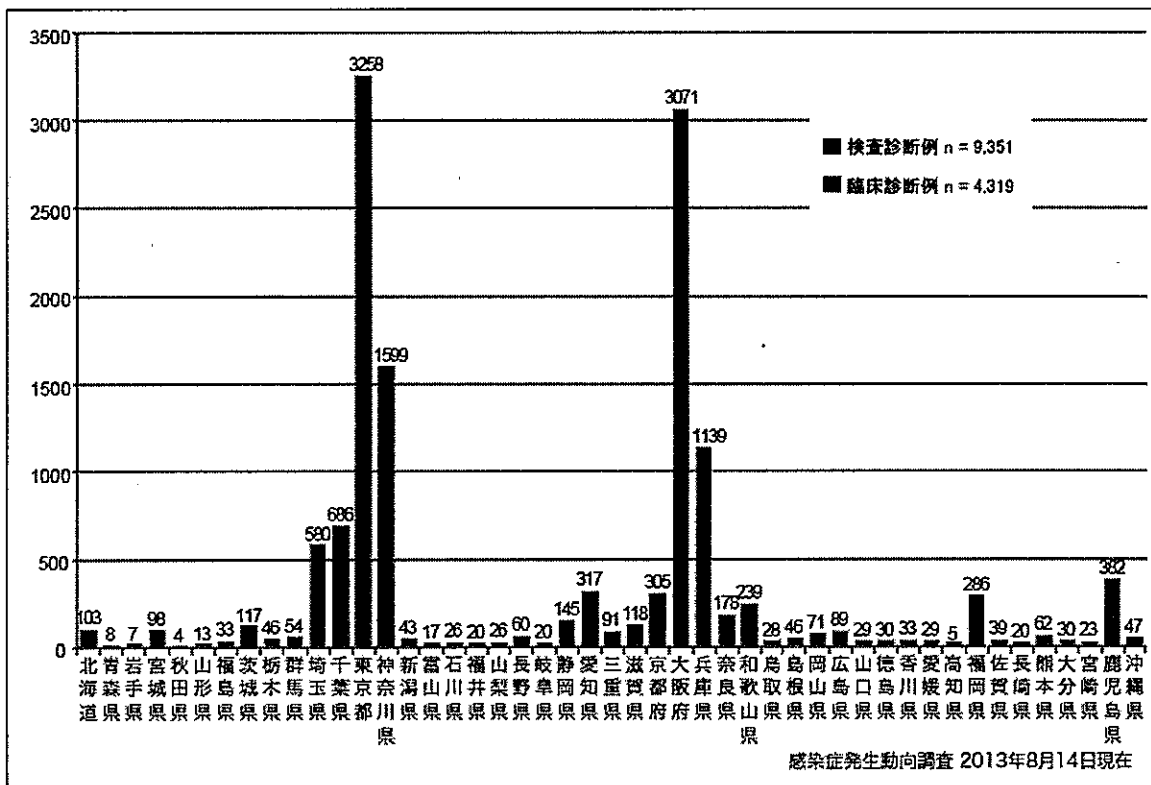
Weekly rubella cases from week 1 to week 32, 2013 (based on diagnosed week as of August 14, 2013).



4. 都道府県別病型別風しん累積報告数 2013年第1~32週 (n=13,670)

Cumulative rubella cases by prefecture and methods of diagnosis from week 1 to week 32, 2013 (as of August 14, 2013).

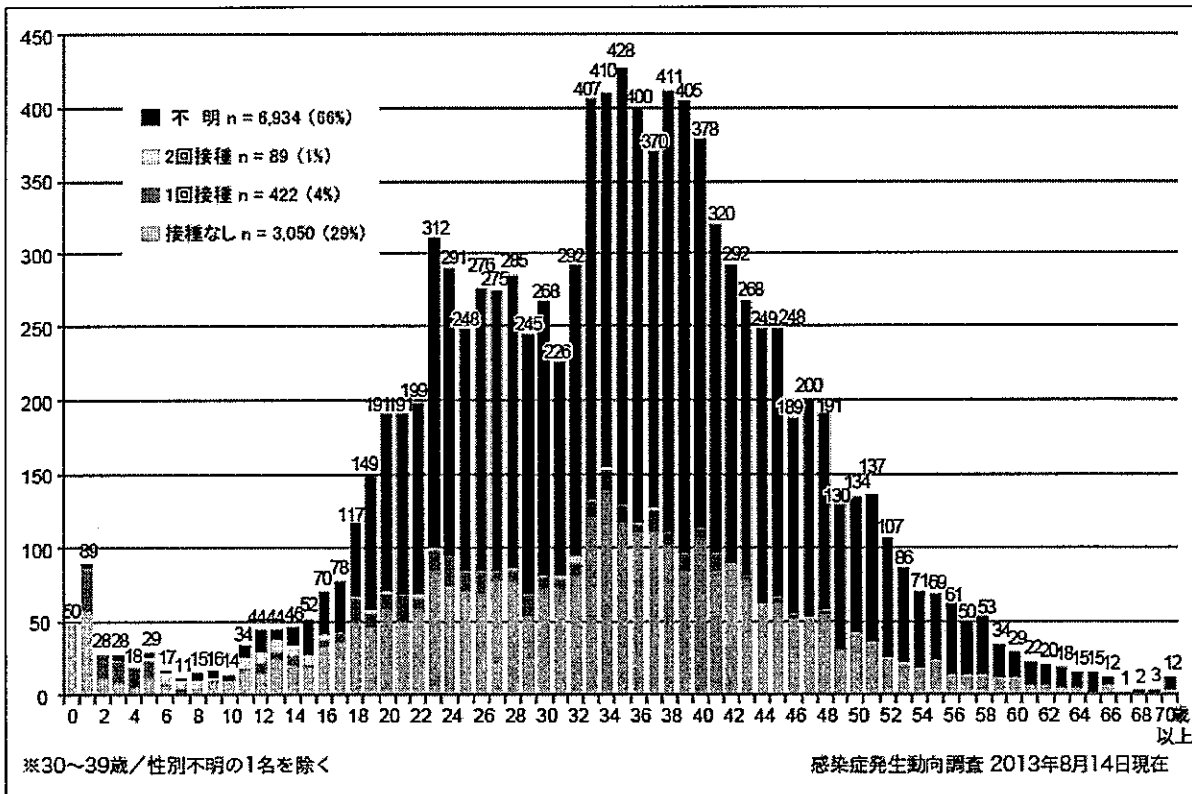
■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed



5-1. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (男性) 2013年 第1~32週 (n=10,495)

Cumulative rubella cases (male) by age and vaccinated status from week 1 to week 32, 2013 (as of August 14, 2013).

None RCV1 RCV2 Unknown



5-2. 年齢群別接種歴別風しん累積報告数 (女性) 2013年 第1~32週 (n=3,174)

Cumulative rubella cases (female) by age and vaccinated status from week 1 to week 32, 2013 (as of August 14, 2013).

None RCV1 RCV2 Unknown

